

## 第3次行財政再構築プランの進捗状況 (平成30年度末) について

行財政再構築の着実な推進を図るため、第3次行財政再構築プランの進捗状況については、庁内の行財政改革推進本部に報告し、評価を受けるとともに、半期ごとに有識者・市民により構成する行財政再構築推進委員会に報告を行い、意見や助言をいただくこととしています。今回は、各プログラムの平成30年度末の進捗状況について報告します。

### 1 各プログラムの平成30年度末進捗状況

平成30年度末のスケジュールの進捗状況については、全43項目(再掲2項目)の取組のうち、1項目が「予定以上に進捗」、32項目が「予定どおりに進捗」、10項目が「予定よりも遅れている」となりました。

【表1】各プログラムの進捗状況(平成30年度末)

分野	予定以上に 進捗 (S)	予定どおりに 進捗 (A)	予定よりも 遅れている (B)
I 地域協働の推進 (7項目)	0	6	1
II 情報の共有と双方向のコミュニケーション (3項目)	0	1	2
III PDCAサイクルの構築 (6項目)	0	4	2
IV 財政基盤の強化 (14項目)	1	9	4
V 執行体制の再構築 (13項目)	0	12	1
計	1	32	10

**【参考1】 予定以上に進捗している取組一覧（1項目）**

No	項目名	平成30年度末 進捗状況	今後の取組
28	財産の有効活用 の促進	<p><b>【取組内容・成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公有財産の売払い等による財源確保額について、目標値1,000万円以上に対し、売払いは7件 20,190,464円、貸付は11件 18,009,095円、合計38,199,559円の財源確保を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えや相続などにより、緊急に売払いを要望されることや、売払い対象地の隣接地権者が多数いる場合などの調整が課題となっている。業務の優先順位を踏まえつつ、関連部署との連携を密にしていくことで計画的な売却を進めていく。</li> </ul>

**【参考2】 予定よりも遅れている取組一覧（10項目）**

No	項目名	平成30年度末 進捗状況	今後の取組
1	協働推進体制の 充実	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「小平市協働の推進に関する指針」の見直しを予定どおり行った。</li> <li>・連絡調整会の中で、大学と地域の関わりを協議する場づくりの継続と各大学の特色を生かした分野で個別に連携を強化していくことで一致し、武蔵野美術大学、津田塾大学、白梅学園大学と包括連携協定を締結した。</li> <li>・東京フットボールクラブ株式会社（FC 東京）のほか、国土交通大学校との包括的な連携協定を締結した。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動支援センター来場者数は、9,425人であり、目標値1万人以上を達成できなかった。また、前年度実績の9,718人から微減となった。</li> <li>・協働事業数については、市との協働事業数110件、大学との協働事業数32件で、それぞれ目標値を達成した。</li> </ul>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動支援センターへの来場数減の要因としては、登録団体数の減等により、利用が少なくなったことによる。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度に改定した小平市協働の推進に関する指針に基づき、市の提示型公募事業の実施及び行政提案型いきいき協働事業の提案募集を行い、市の課題を協働により解決を図る取組を実施していくことで自治基本条例が目指す参加や協働を通じた市民自治の推進を図る。</li> <li>・市民活動支援センターと連携し、市民や市民活動団体同士の交流の場・活動の場等の支援を行うとともに、市民活動の裾野を広げ、多様な担い手が地域の課題に取り組むきっかけとなるような仕組みづくりを進めていく。</li> <li>・民間事業者1社との協定締結に向けて、具体的な調整を進める。</li> </ul>

No	項目名	平成 30 年度末 進捗状況	今後の取組
8	多様なメディアを 生かした積極的な 情報発信	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が情報を得やすく、危機管理、情報セキュリティ、障がい者対応、職員負担の軽減等に資する機能を実装したホームページへのリニューアルを行い、平成 30 年 7 月に公開した。</li> <li>・また、ソーシャル・ネットワーキング・サービスについては、これまで運用してきたツイッターに加え、フェイスブック、ユーチューブの運用を開始した。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市ホームページアクセス件数は、3,150,507 件であり、前年度実績の 3,414,923 件から減少した。</li> </ul>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのリニューアルによるページの統合、廃止等の整理により、全体のページ数が減少したことに伴い、前年度に比べアクセス件数が減少した。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市報に記事掲載があつて市ホームページには記事がないといったケースが一部散見されるので、市報に掲載する記事は、原則、市ホームページにも掲載するよう徹底を図り、より見つけやすく分かりやすいホームページとする。</li> <li>・利用者が理解しやすい言葉、構成のページを作成する。</li> </ul>
10	なるほど出前講座「 デリバリーこだいら」の 推進	<p><b>【取組内容・成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座参加人数は、延べ 920 人/年であり、目標値 1,000 人/年には達しなかった。</li> </ul>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ等、他の情報提供の手段が充実してきたことにより、出前講座参加人数は増加しにくい状況である。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座の制度を知っていただき利用していただけるよう、引き続き市民団体等に個別に紹介を行う。</li> </ul>
11	組織目標の管理 体制の推進	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織目標の設定について、予定どおり実施した。</li> <li>・中間進捗状況調査を実施し、組織目標の実施・達成に向けた進捗管理を実施した。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織目標の実施・達成率は 92.3%であり、目標値の 100%には及ばなかった。</li> </ul>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部において設定した組織目標について着実に取組は進めているものの、全 104 件中、一部未達成及び一部未実施が 6 件、未達成が 2 件あった。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織目標の 100%達成に向けて、中間進捗状況調査で把握した進捗状況を踏まえつつ、随時、進捗の確認を行っていく。</li> </ul>

No	項目名	平成 30 年度末 進捗状況	今後の取組
14	事務事業の見直しの検討	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の見直し方策に係る職員提案を試行的に行い、職員の事務事業の見直しに対する意識醸成を図るとともに、職員から広く見直し方策の提案を収集した。</li> <li>・行財政再構築推進委員会で職員提案による取組の概要及び提案の概要について説明を行い、見直しの実現に向けた意見や助言を受け、見直しの考え方について整理した。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務事業の具体的な見直し 2 件以上の目標は達成できなかった。</li> </ul>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政再構築推進委員会で取り上げた事務事業について、見直しの実現に向けた様々な意見や助言を受け、見直しの考え方について一定の整理を行ったが、現時点では具体的な見直しに至っていない。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 30 年度の事務事業見直しの考え方のまとめを庁内に周知しながら、平成 30 年度の実行再構築推進委員会で取り上げた事務事業について見直しを進める。</li> </ul>
20	財政指標の改善	<p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経常収支比率は 94.2%（平成 31 年 3 月末速報値）となり、前年度に比べ、1.2 ポイントの増加の見込み（93.0%→94.2%）となった。</li> <li>・財政調整基金は、積立額 7.7 億円に対して取崩額を 6.2 億に抑えた結果、残高が 30.2 億円となり、前年度比+1.6 億円となった。</li> <li>・公共施設整備基金は、残高が 22.2 億円となり、前年度並みとなった。</li> <li>・経常収支比率 80%台、財政調整基金 35 億円、公共施設整備基金 25 億円とする目標値は達成できなかった。</li> </ul>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・扶助費の増などにより経常収支比率が悪化する傾向にある。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・扶助費の増などにより経常収支比率が悪化することも見込まれるため、予算編成時にシーリングを定めるなど、経常経費の削減を図り、経常収支比率の改善を目指すとともに、執行残は原則凍結し真にやむを得ない流用のみ認めるなどの管理に努め、余剰財源の積立てによる基金残高の確保を図る。</li> </ul>

No	項目名	平成 30 年度末 進捗状況	今後の取組
22	市内産業の育成	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食業、農業、観光施設が連携した「食・農・文化めぐりん小平」を実施した。</li> <li>・創業セミナーや個別相談窓口などの創業支援策を推進した。</li> <li>・ビジネススキルアップ等を目的とした研修やテレワーク説明会を開催し、テレワーカーを養成することで、就労機会の拡大を支援した。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創業支援件数は 241 人となり、目標 175 人を達成した。</li> <li>・就労支援のための講習会参加者数は 67 人であり、目標値 90 人に達しなかった。</li> </ul> <p>※法人市民税調定額（資本金 1 億円以下）については未算出</p>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援のための講習会参加者数については、平成 30 年度途中での「こだいらコワーキングスペースすだち」の運営体制の変更に伴う講習会実施件数の減により、目標値に達しなかった。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就労支援事業については、一般社団法人すだちと連携し、自立に向けた取り組みとして、コワーキングスペースの見直し、また、テレワーク事業の拡充を図るため、登録テレワーカーの育成を行い、仕事を受注する体制を整える。</li> </ul>
25	受益者負担の適正化（使用料・手数料の見直し）	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各所管課との庁内検討会議や作業部会により、減免基準の見直しや、減額団体判定基準について検討したが、実現可能な考え方についての結論は出なかった。</li> <li>・令和元年度に実施する施設の維持管理コストや負担のあり方を説明し、市民の意見を聞く場を設けるための準備を進めた。</li> </ul>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検討委員会の提言である、公共性の高い団体と趣味・娯楽を目的とする団体を分けることについて、公共性の高さを捉える視点や内容が多様かつ抽象的である。</li> <li>・利用する団体から、検討委員会の提言に反対する趣旨の請願が出されており、利用する方と利用しない方の考え方が全く違う。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 22 年 3 月の受益者負担の適正化検討委員会の検討結果報告書をもとに、集会室等を利用する方と利用しない方との負担の公平性を確保するため、使用料の減免の見直しについて検討する。</li> <li>・施設にかかる経費等を示し、使用料収入の必要性や負担のあり方を説明するとともに、市民の意見を聞く場を設け、施設を利用する方と利用しない方の理解を得ながら、使用料の減免等の見直しを進める。</li> </ul>

No	項目名	平成 30 年度末 進捗状況	今後の取組
30	外郭団体の経営改善	<p><b>【成果指標】</b></p> <p>①小平市文化振興財団の財源確保額：利用料収入は約 7,649 万円となり、目標値 6,800 万円を達成するとともに、前年度実績を上回った。</p> <p>②小平市社会福祉協議会財源確保額：会費収入等の財源確保額は約 2,286 万円となり、前年度に比べ増となったものの、目標値 2,300 万円には僅かに届かなかった。</p> <p>③シルバー人材センターの財源確保額：会員数は 1,149 人で目標値 1,140 人を達成したものの、就業率は目標値 85.0%に対し実績は 82.2%、契約金額は目標値 4 億 4,600 万円に対し実績は約 4 億 3,930 万円となり、目標未達成となった。</p>	<p><b>【要因】</b></p> <p>①ー</p> <p>②インターネットオークションやリユース業の買い取り等が多くなり、バザー用品への提供が年々少なくなっている。</p> <p>③高齢者であっても就業先としての選択肢は多く、また働き方改革により高齢者の再雇用、雇用延長が積極的に行われていることもあり、特に 60 代の会員の確保が課題。</p> <p><b>【今後の対応】</b></p> <p>①小平市文化振興財団との定期連絡会により、事業の進捗状況などの連絡を密に取り、事業等の進行管理に努める。</p> <p>②小平市社会福祉協議会に、社協福祉バザーの開催、自動販売機の設置、新規会員確保への取り組みを要請する。自主財源を得ることができ、社協の経営改善に結び付く。</p> <p>③会員増強 PR の新たな取り組みの検討が課題である。高齢者の地域社会の貢献、健康寿命の延伸を目指し、シルバー人材センター事業の会員増強支援を継続していく。</p>
37	地域コミュニティ施設のあり方の検討	<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティ施設のあり方の検討や公共施設予約システム導入に関する研究を予定どおり進めた。</li> <li>・地域センターについては、自治会地域懇談会に参加し、自治会に対して地域センターの利用を促した。</li> <li>・公民館については、各館において公民館事業企画委員会の円滑な運営に努めた。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域センター利用者数は 685,913 人となり、目標値 70 万人を達成しなかった。</li> <li>・公民館については、全館で事業企画委員会を 5 回以上開催し、目標値を達成した。</li> </ul>	<p><b>【要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域センター利用者数について、例年並みの水準ではあったが、平成 30 年度末の目標値を達成しなかった。</li> </ul> <p><b>【今後の対応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設マネジメントの観点を踏まえ、地域コミュニティ施設の今後の方向性について、一定の案を作成する。</li> <li>・地域センターについては、子育て世代の利用を促進すべく、施設の改修を進めるとともに、自治会へ地域センターの利用を促すべく、自治会地域懇談会等での周知に努める。また、公共施設予約システムについては、令和 2 年度中の導入を目指し、準備を進める。</li> <li>・公民館については、引き続き公民館事業企画委員会の円滑な運営に努めるとともに、事業企画委員会を通じた協働の推進を図り、コミュニティづくりを意識した講座を企画検討する。</li> </ul>